

令和7年(2025年)

12

No.830

The Religion News

宗教新聞

<https://www.religion-news.net>

発行所 宗教新聞社

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-13-2

電話 03-3353-2940(代)

FAX 03-5363-5182

郵便振替口座 00130-9-22704

©宗教新聞社 2025

購読料 (税込)	1部 半年 年間	500円 3,000円(〒共) 6,000円(〒共)
-------------	----------------	----------------------------------

第44回世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者念法眞教大会

「若い世代に託せること」テーマに



世界平和の祈りを捧げる導師(桶屋良祐・念法眞教燈主)、式衆=11月26日、大阪府大阪市の念法眞教総本山小倉山金剛寺

「国境越え、大調和の世界を」

11月26日、大阪府大阪市の念法眞教総本山小倉山金剛寺で、「第44回世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者念法眞教大会」(主催「世界連邦日本宗教委員会」)が開催された。「将来への希望 若い世代に託せることとは」をテーマに、約500名の宗教者・信仰者が集った。

念法眞教にとって今年 当たり、参列者は式典の 念法眞教100年の節目に 合間に、歴代燈主の偉業

をたたえ、その歩みを伝え る「100年ともしびミ ユージアム」を見学した。

世界連邦日本宗教委員 会は、1947年にスイ

ス・モントルーで採択さ れた世界連邦運動の理念 を踏まえ、1967年に 設立された超宗派の宗教 協議体である。神道、仏 教、キリスト教、イスラ

ム、教派神道、新宗教など 多様な宗教団体が参加し、 毎年全国大会を主催する とともに、海外との交流 も積極的に進めている。

午前10時30分からは、 大会に先立ち、金剛寺拝 殿礼拝堂で世界平和の祈 りが仏教式で執り行われ た。導師(桶屋良祐・念 法眞教燈主)の主導のも

と、式衆・参列者が念法眞 言を唱え、世界平和のた めに真摯な祈りを捧げた。

午後0時20分からの開 会式では、導師・坂田安 弘神道禊教教主管長の主 導により、全員で「祈り

の言葉」を唱和し、黙祷 を捧げた。宍野史生副実 行委員長(扶桑教管長) が開会の挨拶を述べた 後、名誉大会長の桶屋良 祐・念法眞教燈主が、「こ

の世に大調和の世界を築 かなければならない。そ れは慈愛に満ちた、愛一 筋の世界である。民族や 国境を越え、世界に極楽 をつくるというのが世界 連邦思想だ」と述べた。

続いて田中恆清実行委 員長は、「立教100年 を迎えられた念法眞教金 剛寺で第44回大会を開催 できたのも、ご神縁、ご 仏縁のおかげだと思っ

た。私たちは先人が残して くれたさまざまな智慧を自 らのものとして、これか らもしっかりと歩みを進 めていきたい」と語った。

その後、日谷照應・日 本宗教連盟理事長が挨拶 を述べ、大橋光夫・世界 連邦推進日本協議会会長 のメッセージを世界連邦 運動協会事務総長の木戸

寛孝氏が代読、「若者を はじめ、周囲の一人ひと りを説得し、世界連邦を 実現して世界の人々が手 を携えることができるよ う努力を積み重ねよう」 と述べた。

次いで、麗澤大学特任 教授の江崎道朗氏が「皇 室と終戦八十年」と題し て講演した。

江崎氏は、敗戦後まも なく昭和天皇がマッカー

サー元帥と会見し、飢え に苦しむ国民のために皇 室の財産を提供する意向 を示したことに触れた。 また、当時11歳だった上 皇陛下が日本の将来を思 い、「新日本の建設」と

いう詩を書かれた事実を 紹介した。さらに江崎氏 は、戦後も皇室が「国安 かれ、民安かれ」と祈る ために祭祀を続けてきた

ことを強調したうえで、 皇室は国民のため、世界 平和のための祈りを決し て絶やさず、その伝統は 昭和天皇から上皇陛下、

そして今上陛下へと受け 継がれていると述べ、皇 室が歩まれてきた道の尊 さを語った。

また、終戦50年の19 95年に上皇陛下が広島 長崎、沖縄、東京を訪問 し、戦禍に苦しんだ人々 と戦死者の慰霊に心を寄

せられたことにも言及。 今年、天皇皇后両陛下が 硫黄島、沖縄、広島、モ ンゴル、長崎、東京を訪問さ

れ、戦死者と遺族の苦勞 に思いを寄せ平和を祈ら れたことを紹介した。江 崎氏は、皇室は常に国民 と共にあり、その有り難

さに私たちが気付くこと が大切だと締めくくった。 その後、横山照泰大会 宣言起草委員が大会宣言 を発表し、満場一致で採 択された。最後に丸山良 徳副大会長が閉会の辞を 述べ、大会は盛会裡に終

天地

アメリカには 63の国立公園が ある。10月、ト ランプ政権によ る政府機関閉鎖 の最中、東海岸の北端

にあるメイン州アーカ ディア国立公園を訪れ た。ここは全米随一の 紅葉の景勝地。マウン トデザート島のキャデ ラック山は紅葉渋滞に なるだろうと覚悟して いたが、事前予約制を取 っていた、日光や箱根の ような渋滞は皆無だっ た▼公園内には難易度 の異なるトレイルコー スがいくつもあり、登山 経験がなくても1、2 時間で大絶景を満喫で きる。だれでも自然を 安全に楽しめるよう工 夫されているところに 感心した▼ところが11 月25日、米国務省は国 立公園の入場料と年間 パスを2026年から 大幅値上げすることを 発表した。非居住者年 間パスは約3倍の25 0ドル。入場料も11の 国立公園で外国人観光 客は100ドル上乗せ となる。アメリカ人フ ァーストに基づく措置 とされ、他国にも値上げ の動きがある▼世界が 自国ファーストに向か うなか、観光立国を掲 げる日本はどう対処す るか。人間と自然、自国 民と外国人、共生のバラ ンスはなかなか難しい。